

2016年9月26日

当院救急外来で治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

JTAS (Japan Triage and Acuity Scale) の単施設における検証

◆研究の目的と概要◆

当院救急外来では、治療を優先して行う患者さんを決めるために JTAS (Japan Triage and Acuity Scale) を用いたトリアージを行っています。日本の救急外来の多く 2009 年から導入されるようになりましたが、その意義・問題点はまだ明らかではありません。JTAS の意義・問題点を明らかにすべく、当院救急外来を受診された患者さんを対象にした臨床研究を実施しています。この研究は過去の診療情報を利用して行います。

◆対象となる患者さん◆

2013 年 5 月から、2017 年 3 月までの間に当院救急外来を受診された方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、受診時間帯、トリアージレベル、行われた検査の内容、救急外来および入院後の滞在時間・転帰・直接医療費、血液検査の結果

-
- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
 - * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
 - * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

総合診療科 研究責任者 栗山 明

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：ak13568★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）